

過去から未来へつなぐ災害教訓のバトン ～ 自然災害伝承碑の取組～

令和4年10月19日
国土地理院
応用地理部 地理情報処理課
大田 寛之

I. 自然災害伝承碑とは

(概要、きっかけ、地理院地図での表示方法)

II. 地理院地図での公開状況

(掲載までの流れ、公開数の推移・分布図、ダウンロード提供)

III. 自然災害伝承碑の代表例

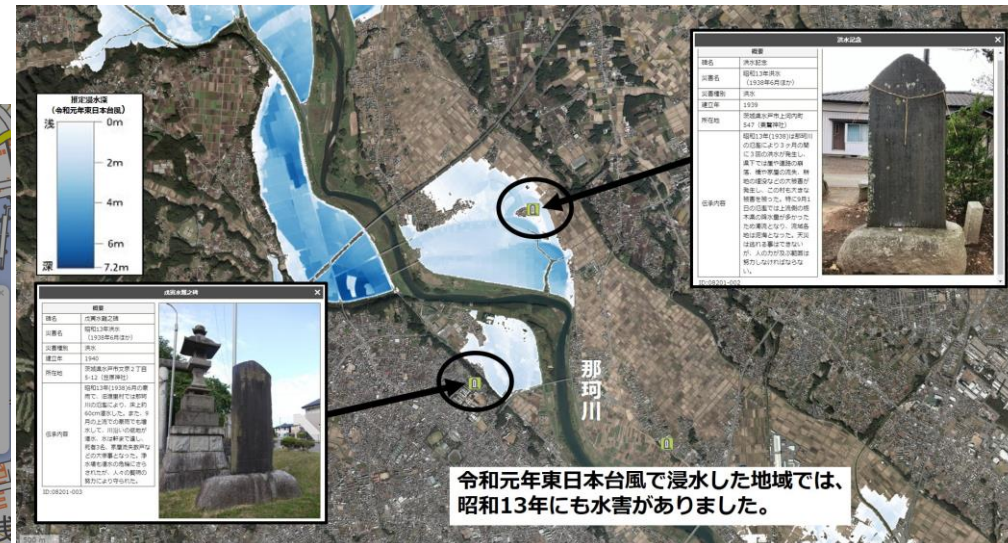
IV. 自然災害伝承碑の活用事例

(学校における学習教材としての活用、様々な教科での活用の可能性)

V. まとめ

自然災害伝承碑とは

- ◆ 過去に発生した自然災害（洪水、土砂災害、高潮、地震、津波、火山災害等）の様相や被害状況等が記載されている石碑やモニュメント
- ◆ 当時の被災場所に建てられていることが多い
- ◆ 令和元年6月からウェブ地図「地理院地図」で公開（令和元年9月から2万5千分の1地形図に掲載）
- ◆ 取組を通じて、地域住民の防災意識向上に貢献



震災後50年南海道地震津波史碑・津波十訓 (徳島県海陽町)

「令和元年東日本台風」による浸水域と伝承碑の位置

整備するきっかけ：「平成30年7月豪雨」

- ◆ 広島県坂町では、過去の大水害の被災状況を伝える石碑が現地に建立されていたものの地域住民にその内容が十分に伝承されていなかった。



https://maps.gsi.go.jp/#15/34.303431/132.512145/&base=std&ls=std%7Cdisaster_lore_all&disp=11&lcd=disaster_lore_all&vs=c1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1&d=m

【水害碑（広島県坂町）の伝承内容】

明治40年（1907）7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川や総頭川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。

<地理院地図での表示イメージ>

<公開している情報>

- ① 碑名
- ② 災害名
- ③ 災害種別
(災害の種類)
- ④ 建立年
- ⑤ 所在地
- ⑥ 伝承内容
(100字程度に要約)
- ⑦ 写真

さらに写真をクリックすると
伝承内容や拡大写真が表示

アイコンをクリックすると
碑名や災害名が表示

概要	
碑名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡坂町小屋浦 四丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日来降り続いた豪雨により天地川や総領川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。 関連外部サイトへのリンク 欠集

ID:34309-002

水害碑

水害碑

自然災害伝承碑を示すアイコン

自然災害伝承碑のページはこちら↓

<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

<自然災害伝承碑掲載までの流れ>

◆ 市区町村→国土地理院へ申請を行う

※地方自治体と連携し、地域の防災力向上を目指す。

①掲載希望の連絡（市区町村→国土地理院）

※事前に申請内容を相談する

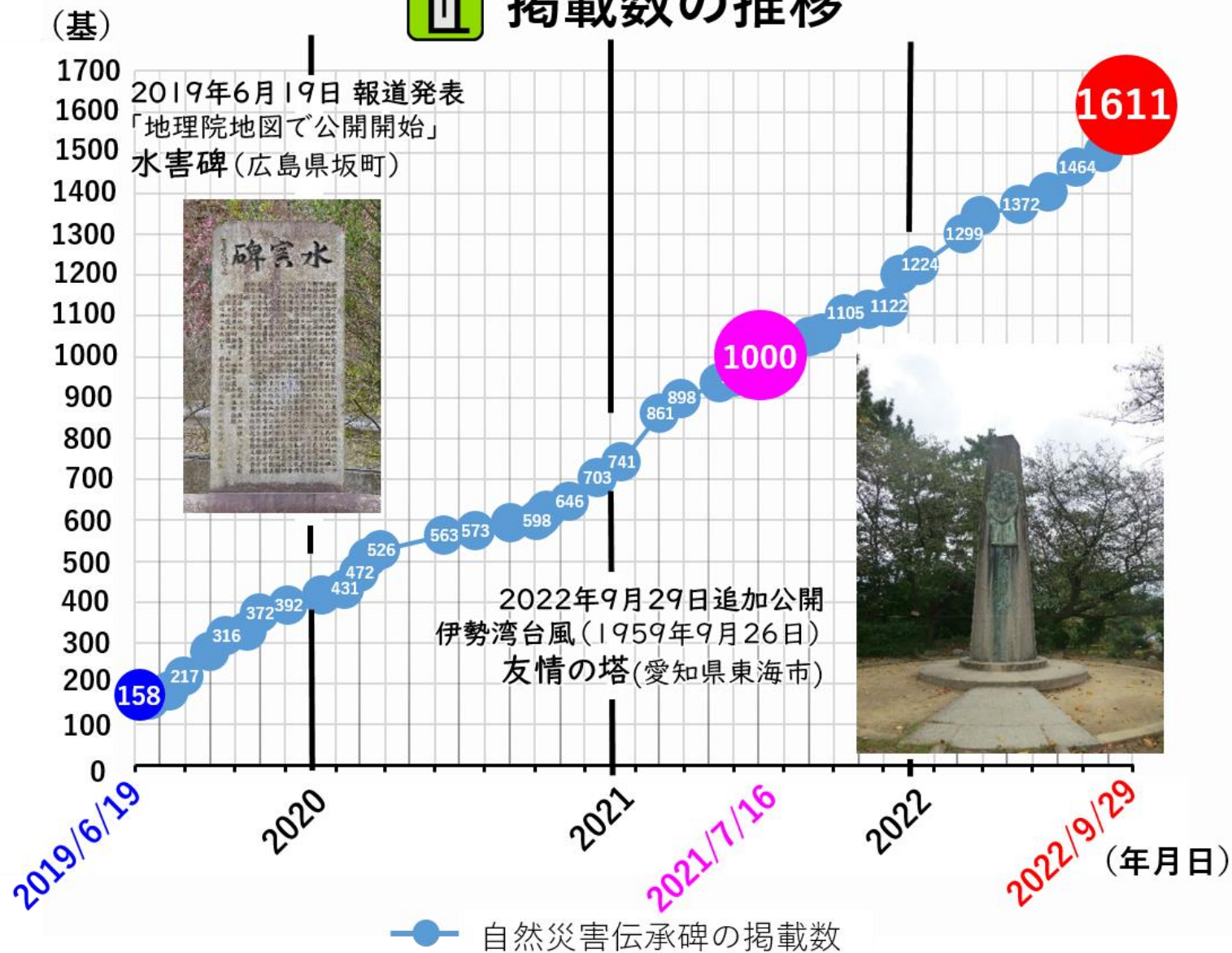
②掲載申請書、申請調書を作成（市区町村）

③現地写真の準備（市区町村）

④申請書類、写真データの提出（市区町村→国土地理院）

⑤申請のあった情報を取りまとめ地理院地図を更新（月1回程度）

📌 掲載数の推移



自然災害伝承碑 分布図

47都道府県 1611基 465市区町村

(令和4年9月29日時点)



<ダウンロード提供の開始>

- ◆ 自然災害伝承碑の更なる認知度向上・活用促進を図るため、データのダウンロード提供（CSV・GeoJSON形式）を令和2年8月に開始

自然災害伝承碑データのダウンロード

※検索・他サイトからのリンク等による直接アクセスで、「自然災害伝承碑データ」の提供についてページごとにもお問い合わせいただけます。ご利用の際は、同意されたものに見られます。

「自然災害伝承碑データ」の提供についてに関する

ダウンロード

- 自然災害伝承碑データ【GeoJSON】 ZIP形式244KB (2022年9月29日版)
- 自然災害伝承碑データ【CSV】 ZIP形式206KB (2022年9月29日版)

緯度	経度
43.681137	142.390215
43.655015	143.164773
41.532718	140.421013
42.054945	139.44972
42.07197	139.470127

上記の内容で読込開始

自然災害伝承碑のデータダウンロードはこちら↓
https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_download.html

<csvデータの活用例：自然災害伝承碑の建立年別基数グラフの作成>

<作成方法>

- ①ダウンロードしたcsvデータの建立年及び災害種別に着目する。
- ②表計算ソフトを用いて、建立年別の自然災害伝承碑の基数を災害種別ごとに集計する。
- ③集計したデータをもとに、任意の時代を選んで、グラフを作成する。

③建立年、災害種別ごとの集計のイメージ

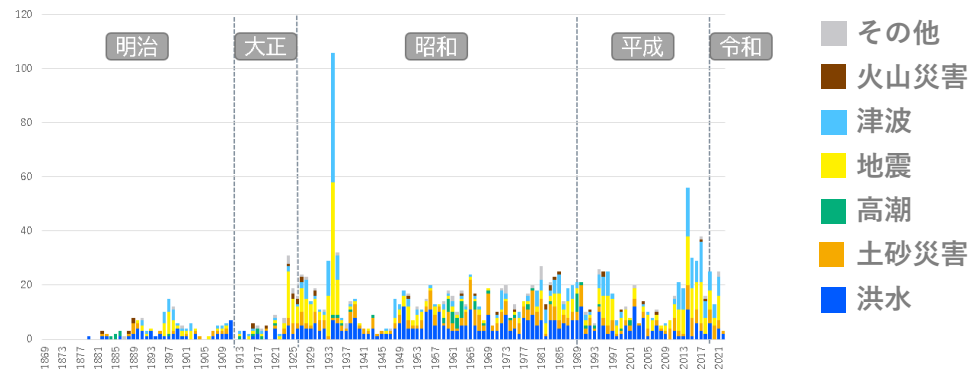
建立年	洪水	土砂災害	高潮	地震	津波	火山災害	その他	合計
1868	1	0	0	0	0	0	1	2
1869	0	0	0	0	0	0	0	0
1870	0	0	0	0	0	0	0	0
1871	0	0	0	0	0	0	0	0
1872	0	0	0	0	0	0	0	0
1873	0	0	0	0	0	0	0	0
1874	0	0	0	0	0	0	0	0
1875	0	0	0	0	0	0	0	0
1876	0	0	0	0	0	0	0	0
1877	0	0	0	0	0	0	0	0
1878	0	0	0	0	0	0	0	0
1879	1	0	0	0	0	0	0	1
1880	0	0	0	0	0	0	0	0
1881	0	0	0	0	0	0	0	0
1882	1	1	0	0	0	1	0	3
1883	1	1	0	0	0	0	0	2
1884	0	0	1	0	0	0	0	1
1885	0	0	2	0	0	0	0	2
1886	1	0	2	0	0	0	0	3
1887	0	0	0	0	0	0	1	1
1888	1	1	0	0	0	1	0	3
1889	2	4	0	0	0	2	0	8
1890	4	2	0	1	0	0	0	7
1891	3	0	0	2	2	0	1	8
1892	1	0	0	1	1	0	0	3
1893	3	0	0	1	0	0	0	4
1894	1	0	0	0	0	0	0	1
1895	2	1	0	0	0	0	0	3

②自然災害伝承碑データ (csv形式) (一部抜粋)

ID	碑名	建立年	所在地	災害名	災害種別	伝承内容	緯度	経度
01202-001	遭難犠牲者慰霊碑	1975	北海道函館市川	昭和48年集中豪雨	洪水・土砂災害	昭和48年(19	41.891005	140.96034
01204-001	美瑛川治水竣工記念	1958	北海道旭川市西	昭和22年8月洪水	洪水	昭和22年(1	43.681137	142.390215
01208-001	樹霊供養之塔	1959	北海道北見市留	洞爺丸台風(1954)	その他	昭和29年(1	43.655015	143.164773
01212-001	留萌川敷特事業竣工記念碑	1992	北海道留萌市南	昭和63年8月洪水	洪水	昭和63年(19	43.929455	141.672708
01230-001	親子地藏尊	1962	北海道登別市片	昭和36年集中豪雨	洪水	昭和36年(19	42.412925	141.087312
01331-001	光明寺寛保津波の碑	1742	北海道松前郡松	寛保津波(1741年)	津波・火山災害	寛保元年7月	41.425119	140.091059

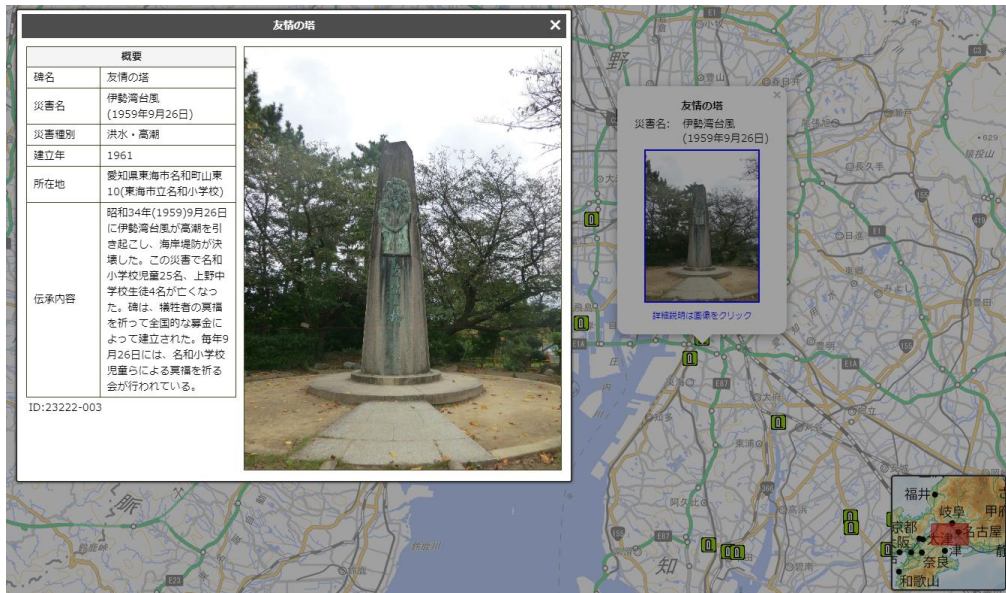
④自然災害伝承碑の建立年別基数グラフのイメージ

明治期以降の建立年別基数(イメージ)



※自然災害伝承碑データ(2022年●月●日版)を使用。
 ※建立年が明確でない自然災害伝承碑は除外。
 ※複数の災害種別を有する自然災害伝承碑は、災害種別ごとにそれぞれ1つとして計上。

<最近公開した碑>



友情の塔（愛知県東海市）

【災害名】

伊勢湾台風

(1959年9月26日)

【建立年】

1961年

https://maps.gsi.go.jp/#11/35.055013/136.912651/&base=pale&ls=pale%7Cdisaster_lore_all&disp=11&lcd=disaster_lore_all&s=c1g0j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m&reliefdata=20G949494G3GE3E3E3GAG8CA3FFG19G94BFFF32G7AE0FFG64GD6FEFFG96GF7FFD6GFAGF5ECBFG177GD6C378G1F4GB87B30G2BCG9E5934G352GC2B8ADG465GFFFFFGGFAECE6

【伝承内容】

昭和34年(1959)9月26日に伊勢湾台風が高潮を引き起こし、海岸堤防が決壊した。この災害で名和小学校児童25名、上野中学校生徒4名が亡くなった。碑は、犠牲者の冥福を祈って全国的な募金によって建立された。毎年9月26日には、名和小学校児童らによる冥福を祈る会が行われている。

<学校における学習教材としての活用>

鳥取県立鳥取西高等学校

なぜ

「地形を知り 災害を知り 災害に備える」

ことが大切なのか？

鳥取県立鳥取西高等学校 中村秀司

2020年11月6日

③自然災害伝承碑を探そう 探し方↓



なぜ、伝承碑がここにあるのか？

なぜ、この地に伝承碑があるのだろうか？

④新旧地形図で調べよう

調べ方：[今昔マップ](#)



鳥取平野の災害危険性

⑤どんな災害が予想されているか？

調べ方：[重ねるハザードマップ](#)



◆鳥取西高等学校では地理歴史（地理B）の授業の中で地理院地図に掲載されている**自然災害伝承碑**を学習教材として活用した。

◆「なぜ対象地域に自然災害伝承碑があるのか」を調べることで、対象地域の地形の特徴、土地利用の変化、過去・近年に日本及び対象地域で発生した自然災害、ハザードマップを使用した災害予測等を学び、マイ・タイムライン（住民ひとりひとりの防災行動計画）を作成することで、**生徒の防災意識を高めることが授業の狙い。**

- ◆ 自然災害伝承碑に記された碑文等の情報は、過去の災害により自らの身に起きた出来事を現在の我々に伝えんとする先人たちの貴重なメッセージである。
- ◆ 本取組は、そのメッセージを電子地図や地図記号の形とすることで、風化させることなく過去の教訓を後世に分かりやすく伝え続けるものである。
- ◆ 防災教育等での教材としての活用など、住民の防災意識、ひいては災害時における自助力向上に寄与できるものである。
- ◆ 国土地理院では、人々の記憶や生活から埋もれている自然災害伝承碑を掘り起こすため、碑の存在を明らかにし、自治体への登録の働きかけを進めていきたい。

自然災害伝承碑を地理院地図で見る→

